

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 伊藤宣広	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項 (教育、研究、社会貢献等の分野)</p> <p>[著書] 立教大学経済学部の黒木龍三教授らと共に分担執筆した共著 <i>Keynes and Modern Economics</i> (London and New York: Routledge, 2013)を出版した。</p> <p>[論文] 2013年2月刊行の『高崎経済大学論集』第55巻第3号に論文「D.H.ロバートソンの利子論」を発表した。</p> <p>[書評] 2013年1月刊行の『経済学史研究』第54巻第2号に書評「Raffaelli, Tiziano, Tamotsu Nishizawa, and Simon Cook, eds.: <i>Marshall, Marshallians and Industrial Economics</i>, London and New York: Routledge, 2011, xvii+325pp.」を発表した。</p> <p>[学会討論者] 2012年5月の経済学史学会（小樽商科大学）、 2012年11月のケインズ学会（明治大学）、 2013年3月の International Keynes Conference（一橋大学） で討論者を務めた。</p> <p>（進行中の仕事） 来年度出版予定の翻訳書の翻訳作業を進めた。</p> <p>[教育] 2013年3月に桐生市立商業高校に出張し、大学説明および模擬授業を担当した。</p> <p>伊藤ゼミナール卒業論文集第3号を刊行した。</p> <p>[事務] 経済学会理事として『高崎経済大学論集』の編集作業、定期研究会の組織運営、学生懸賞論文、退職記念講演等の仕事に従事した。</p> <p>広報センター運営委員としてオープンキャンパス（模擬授業司会、進学個別相談）その他の業務に従事した。</p>	